



図 22.15 ケラトアcantoma (keratoacanthoma) の自然歴 (発症から自然消退まで)

a: 初発時, 直径 1 cm 大の半球状隆起性腫瘍として初発. b: 徐々に増大. c: さらに増大し中央部が自潰. d: 無治療でわずかの瘢痕を残して治癒.

B. 脂腺系腫瘍 sebaceous gland tumors

脂腺癌 sebaceous carcinoma

脂腺由来の皮膚癌で, 主に眼瞼脂腺 (Meibom 腺) に由来し, 上眼瞼に好発する橙黄色調の結節として観察される (図 22.16). 病理組織学的には腫瘍細胞巢内に澄明な胞体の異型脂腺細胞を認める. Muir-Torre 症候群は良性・悪性の脂腺系腫瘍を多発し, 内臓悪性腫瘍を伴う常染色体優性遺伝疾患であり, *MSH2* などの遺伝子修復関連遺伝子の変異が関与している.



図 22.16 脂腺癌 (sebaceous carcinoma) 眼瞼脂腺 (Meibom 腺) から生じたもの.

C. 毛包系腫瘍 follicular tumors

まれではあるが, 毛包を構成する各種細胞由来の悪性腫瘍として, 外毛根鞘癌 (trichilemmal carcinoma), 悪性増殖性外毛根鞘性嚢腫 (malignant proliferating trichilemmal cyst), 悪性毛母腫 (malignant pilomatricoma) などがある.

D. 汗腺系腫瘍 sweat gland tumors

1. 乳房 Paget 病 mammary Paget's disease ★

Essence

- 乳頭部を中心に, 浸潤を触れる湿疹に類似した紅斑や, びら